



元気に挨拶 笑顔で挑戦 夢が広がる大北小

# 大北がより

学校評価号  
令和5年2月2日  
練馬区立大泉北小学校  
校長 松井 貴子

<https://www.nerima-tky.ed.jp/ooizumi-n-e/>

## 学校評価アンケートについて

令和4年12月に保護者の皆様に学校評価アンケート21項目について回答していただき、456家庭中375、回収率約82%でした。御多用の中、御協力ありがとうございました。また、令和4年7月・12月の児童アンケートの結果も、裏面に掲載しております。

皆様からの貴重な評価、児童のアンケート結果を参考にしながら、今後の教育活動の改善に努めてまいります。

### ◎保護者アンケート

結果より（令和4年12月と令和3年12月の比較）

#### 肯定的な回答が80%以上

		令和3年との比較
1	お子様は、楽しく学校に通っている。	95.2% (0.2%↑)
2	お子様は、友達と仲良く生活している。	94.6% (2.4%↓)
7	学校は、道徳の授業や読書活動等のさまざまな教育活動を通して、子供たちの心を育てている。	85.7% (4.3%↓)
8	学校は、体力向上や健康・安全に関する取組みをしている。	86.5% (8.5%↑)
9	お子様は、場に応じた挨拶や傾聴の姿勢が身に付いている。	81.4% (3.4%↑)
10	お子様は、SNSルール等を守り、心身の健康を大切にしている。	86.8% (0.2%↓)
11	お子様は、集団生活のきまりを理解し、責任をもった行動ができる。	93.0% (1.0%↑)
14	お子様は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身に付いている。	86.0% (2.0%↑)
15	学校は、教育目標及び方針、教育活動を分かりやすく伝えている。 (学校だより・HP・メール配信、保護者会等)	81.4% (1.6%↓)
18	学校は、学校施設の整備や校内環境美化に努めている。	82.5% (0.5%↑)
19	学校・家庭・地域が連携、協力し「自分の身は自分で守る」安全教育を推進している。(PTA活動・保護者・ボランティア・応援団活動・地域行事等)	80.0% (4.0%↑)
20	学校は、心のふれあい相談員・スクールカウンセラー・あおぞらルーム・養護教諭等、さまざまな相談できるところがあり、連絡や相談をしやすい。	80.3% (1.3%↑)
21	学校は、保護者と協力し感染予防に留意して健康づくり、体力づくりに取り組んでいる。	84.9% (3.1%↓)

## 見解

○肯定的な回答は、90%以上が3項目、80%以上であった項目は10項目であった。

○昨年度と比較して、微増、微減があるが、特に大きく増加・減少した項目については以下の通りである。

### 増加

- ・8の体力向上・安全に関する取組では、感染対策をしっかりと行い、運動に取り組み、毎月の安全指導に取り組んだ結果だとうかがえる。また、「全国健康づくり推進学校表彰事業」での取組み、給食指導等でICTを効果的に使い可視化することで、分かりやすく児童に伝え実践できたことが反映されている。
- ・19は、コロナ禍であるが、PTAや学校応援団の活動等と協力して子供たちの安全安心に力を入れている成果である。本年度も学校応援団が主催となって教職員やPTA等と実施した「大北まつり」は大盛況でした。

### 減少

- ・7から、読書・道徳授業やさまざまな教育活動において、子供たちの心を育てる取組みにさらに力を入れていくようにする。次年度は、6月の土曜学校公開に道徳授業地区公開講座を実施する。

## 肯定的な回答が80%未満

令和3年との比較

3	お子様は、目標や夢をもって生活している。	70.4%	(0.4%↑)
4	お子様は、学校での出来事や様子をよく話している。	78.7%	(0.3%↓)
5	学校は、ICT等を活用し、分かりやすい授業や楽しい授業に努めている。	78.2%	(3.8%↓)
6	学校は、個々の学習課題に応じた学習計画を立て、意欲的に学んでいる。	65.2%	(2.8%↓)
12	学校は、いじめを許さず、一人一人に居場所のある温かい人間関係を築く教育を保護者や関係機関とすすめている。	79.0%	(2.0%↓)
13	「大北小スタンダード」や家庭学習ガイドライン等を活用し家庭学習の習慣が身に付いている。	65.5%	(0.5%↓)
16	学校・家庭・地域が連携・協力し「目指す15歳の姿」を意識した多様な教育活動をしている。	62.3%	(0.7%↓)
17	学校は学校図書館の活用や読書活動を推進し「言葉の力」を身に付け、自ら考え判断し行動する子供を育てている。	74.2%	(2.2%↑)

## 見解

- ・3は、キャリア教育を視点とした授業を通し、目標や夢をもって生活している児童が増えつつある。
- ・6は、家庭と連携をし、家庭での学習計画のたて方の強化を図り、家庭学習週間と個人面談を実施する。
- ・5は、授業のねらいを明確に、ICTの効果的な使い方を精査し児童にとって分かりやすい授業になるよう努めていくようにする。
- ・12は、SC、心の相談員、学力支援員等を活用し、児童一人一人に居場所をつくり、温かい人間関係を築くことができるよう一層の力を入れる。
- ・13は、学校とご家庭との連携をさらに強くし、家庭学習習慣の定着を図るようにする。
- ・16は地域の農業体験や白子川体験活動、海外の教育機関と連携した国際理解の教育の充実を図り、多様な教育を今後も進めていくようにするとともに、保護者へも周知し、家庭で4の項目の「お子様は、学校での出来事や様子をよく話している。」へとつなげ、活動したことを話題にし「伝える力」により学びを深める。
- ・17は、学校図書館の活用や読書活動を推進した結果が現れつつある。学校評議員の皆様からも読書による自分で考える力を付ける必要があるとの御意見をいただいている。一人1冊の本を身近にもち、すぐに読書に臨める機会を増やしたり、活動の取組み内容を工夫したりして、より一層読書活動を推進していく。

## ◎児童アンケート

結果より（令和4年7月と12月の比較）

肯定的な意見が90%以上の項目		7月との比較	
2	あなたは、友達と話し合い、仲良く活動していますか。	95.7%	(1.8%↑)
10	あなたは、みんなで決めた目標や学校のきまり、交通ルールなどを守っていますか。	91.6%	(2.3%↓)
14	あなたは、「自分の身は自分で守る」ための行動をしていますか。	93.3%	(0.2%↑)
20	「あけましておーきた」を守り、感染予防に気を付けていますか。	93.6%	(2.7%↑)

### 見解

- ・2は、感染予防に注意をしながらの直接の意見交流の場面が増えたり、タブレット端末を使用した意見交流を効果的に行えたりしていることが上昇につながっていると考えられる。また、キャリア教育の「考えや気持ちを聞く、伝える力」において、児童の実態や発達段階に応じた学年目標を定め、授業に取り組んだ成果である。
- ・10は、クラスで決めた目標や学校で掲げる週の生活目標を守ろうとする自主性が育まれている。交通安全教室や毎月の安全指導の成果が上がっている。引き続き、児童の実態に即して指導内容の工夫を行い実施していく。
- ・14は、毎月の避難訓練、また安全指導で動画を使用し、児童の発達段階に応じた内容の安全教育を推進した成果である。
- ・20は、感染状況が収束しない渦中にて、学校での感染予防の指導の徹底、児童が感染予防に意識を高めていることがうかがえる。特に手洗いやマスクによる感染予防等一人一人がよく取り組み、衛生への意識が高い。

### 肯定的な意見が85%以上90%未満の項目

		7月との比較	
1	学校は楽しいですか。	86.5%	(2.7%↓)
4	あなたは、すすんであいさつや返事をしていますか。	88.2%	(1.5%↑)
5	あなたは、相手の話を「目と耳と心」でしっかり聞こうとしていますか。	89.4%	(0% 同率)
7	学校の授業は楽しくわかりやすいですか。	85.8%	(1.5%↓)
8	あなたは、タブレットPCを使って楽しく勉強をしていますか。	87.7%	(2.2%↑)
17	あなたは、友達のよいところを伝えたり、感謝の気持ちを言葉にしたりしていますか。	85.8%	(3.1%↑)

### 見解

- ・1は、7月と比較すると下がっている。教育活動での関わり合いによる児童間トラブルも増えていることから、家庭と連携してより児童理解に努め、児童が学校生活を楽しく過ごすことができるように指導していく。
- ・4は、あいさつや返事の大切さを教員が指導した成果と言える。また、児童はあいさつや返事の大切さを認識し、実践することや相手意識をもち行動ができるようになってきたので、次年度は感謝の気持ちを伝えられる力を伸ばしたい。
- ・5は、相手の話をしっかり聞こうとする姿勢が生まれつつある。キャリア教育での各学年の目標を掲げ、相手意識をもって話を聞く指導を引き続き行っていく。
- ・7は、キャリア教育の視点を通した授業改善により、児童が目標を明確にして授業に取り組む姿勢が見られる。
- ・8は、一人に1台タブレット端末が配備され、約2年が経つ。児童は、タブレット端末の操作や授業中での効果的な活用法が身に付き学習に生かしていることがうかがえる。
- ・17は、児童同士の関係の良好性がうかがえる。学級の活動や行事（体育科学習発表会、音楽科学習発表会など）、けやき班活動の充実を図り、友達を多面的に見て、よさを伝え合う機会が増えたことも一因と考えられる。

肯定的な意見が80%以上85%未満の項目

		7月との比較
3	あなたは、いろいろなことを笑顔で挑戦していますか。	81.8% (1.8%↓)
13	あなたは、お家の人に学校での出来事や様子をよく話していますか。	81.6% (0.9%↓)
16	あなたは、友達や学校のみんなの役に立つことを考えたり、行動したりしていますか。	82.0% (0.1%↑)

見解

3項目とも7月と比較し、微増微減の項目であった。

- ・3は、児童が自分自身と向き合い、挑戦する意識を高めていくような働きかけや工夫を行うようにする。
- ・13は、児童一人ひとりの年齢や発達段階によって差が生じます。学校行事や興味のあるニュース、読んでいる本などお子さんの話を聞く時間や機会をつくるなどの工夫をご家庭において行っていただければ幸いです。
- ・16は、キャリア教育で身に付ける力の「次のことを考える力」でのめあてを実践し、児童が友達やクラス、学校のために考えたり行動したりする力を育むようにする。

肯定的な意見が80%未満の項目

		7月との比較
6	あなたは、すすんで読書をしていますか。	69.2% (1.0%↑)
9	あなたは、早寝・早起き・朝ごはんを守って生活できていますか。	79.1% (1.0%↓)
11	先生方（心のふれあい相談員・スクールカウンセラー・生活支援員・あおぞらルームも含む）は相談しやすいですか。	78.9% (2.1%↓)
12	あなたは、自分で学習計画を立て、宿題や家庭学習に取り組んでいますか。	78.5% (2.2%↑)
15	あなたは、すすんで運動したり、外で遊んだりしていますか。	79.1% (3.4%↓)
18	あなたは、自信をもって自分のよいところを言えますか。	62.7% (1.7%↓)
19	あなたは、夢や目標について考えたり、他の人と話したりしていますか。	79.0% (1.2%↑)

見解

- ・6は、日々の読書活動や読書旬間や「校長先生による読み聴かせ」（1年生）などの取組により、7月より微増であった。引き続き、読書活動の工夫と次年度実施の「スイッチタイム」等を活かし推進を図る。
- ・9は、7月に比べ微減である。生活習慣を身に付けていくよう、保護者の協力を得て生活習慣の向上を目指していく。心と体の健康について食育を通して次年度も充実させる。
- ・11は、児童と教職員の人間関係の構築をさらに行うようにし、安心して相談できる存在へとなっていくようにする。また、さまざまな相談窓口についての理解を深め、活用できるように周知していく。
- ・12は、7月より増加している。自分で考え計画を立て、学習を進めていく児童が増えていることがうかがえる。
- ・14は、7月に比べ減少している。体育の授業で体を動かすことの楽しさを味わわせるようにし、運動が好きな児童を増やしていく。パワーアップ旬間の内容の充実を図り、体力の向上を目指す。また、外遊びの推奨を校内全体で行う。
- ・18は、道徳の授業や行事ごとの振り返りや学期ごとの「キャリアパスポート」を活用し、自分が成長した点、頑張った点を実感させ、「自分のよいところを見つける力」を伸ばす。
- ・19は、「めあてに向かって主体的に学び、考える児童の育成」を目標とするキャリア教育の視点を取り入れた学習を通して、自身の夢や目標を意識する機会が増えたことが考えられる。次年度さらに深めていく。